



株式会社 ZMP との資本業務提携について

2021年7月2日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉恭三）は、独自の自動運転技術を活用した自動運転車両や一人乗り自動運転ロボットなどの低速自動運転ロボット、物流支援ロボットなどの開発を手掛ける株式会社 ZMP（代表取締役社長：谷口恒、以下 ZMP）と資本業務提携をしましたので、お知らせします。

1. 背景

高齢化・過疎化の進行による地域の交通課題を解消するため、様々な業界・自治体で自動運転の実用化に向けた取組みが加速しています。また、感染症の蔓延や労働力不足により、無人・非接触・非対面サービスのニーズが高まっており、今後このような動きはさらに加速すると考えられます。

当社は、自動運転をはじめとした CASE^{※1}・MaaS^{※2}や、先進的な街づくりへの取組を通じ、安全・安心なモビリティ社会・街づくりへの貢献を進めています。また、2016年より地方創生プロジェクトを立ち上げ、地域の「まち・ひと・しごと」に係る課題解決に役立つメニューを提供しています。

ZMPは、高い自動運転技術を持ち、またその技術を活用した様々な自動運転ロボットを開発・提供するなど、今後高まるニーズにマッチした商品・サービスを展開しています。

今般、両社は、自動運転技術を活用したモビリティサービスの普及に向けて、安全・安心な運行を実現する両社の商品・サービスを共同で提供することに基本合意し、資本業務提携をしました。

※1 Connected（コネクティッド）、Autonomous（自動運転）、Shared & Services（シェア・サービス）、Electric（電動化）の頭文字を取った言葉で、自動車産業の技術革新を意味する。


※2 Mobility as a Service の略称。様々な種類の交通サービスを需要に応じて利用できる一つのサービスに統合することを意味する。

2. 概要

(1) ZMP について

ZMPは、「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」を企業理念とし、ヒトの移動を担う「自動運転車両 RoboCar[®]シリーズ」、モノの移動を担う「物流ロボット CarriRo[®]シリーズ」、「歩行速ロボ[®]三兄弟」を活用したサービス、それらを管理する「ロボットクラウドシステム ROBO-HI[®]」など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供している企業です。

<ZMP 社概要>

企業名	株式会社 ZMP	
代表者	谷口 恒	
拠点	東京都文京区小石川 5-41-10	
設立	2001年1月30日	
ホームページ	https://www.zmp.co.jp/	

(2) 同社商品・サービスの特長について

①自動運転車両 RoboCar[®]シリーズ

独自開発の自動運転コンピューター「IZAC[®]」を搭載した自動運転車両 RoboCar シリーズを開発・販売しています。小型 EV バスタイプ、SUV タイプ、ミニバンタイプをラインナップし、都心部公道での自動運転タクシーサービスや空港での自動運転バスなど、自動運転の実用化に向け取り組みを進めています。

②物流支援ロボット CarriRo®シリーズ

台車型ロボット、無人フォークリフト、自動運転牽引車両を開発・販売しています。導入企業は250社を超え、物流施設や工場等における無人化・省力化に貢献をしています。

③歩行速ロボ®三兄弟

人が歩く程度の速さで自動走行する3種類のロボット（歩行速モビリティ®RakuRo®、無人宅配ロボ DeliRo®、無人警備・消毒ロボ PATORO®）と、ロボットの統合管理を行うロボットマネジメントクラウドシステム「ROBO-HI®」を活用したサービスを提供しています。東京都中央区でシェアリングサービスを開始している RakuRo®や、コロナ禍で注目を集めている宅配ロボット DeliRo®など、高い技術力に注目が集まっています。



3. 今後の展開 CSV×DX

当社は ZMP との協業を通じて、自動運転ロボット専用商品・サービスの共同検討を行い、データ・デジタル（DX）を活用した共通価値の創造（CSV）に資する保険商品・サービスの開発と両社商品のパッケージ化による共同展開に取り組んでいきます。また、これらの取組と地方創生取組を連動させ、過疎地等における地域交通の衰退や物流事業における人手不足といった社会課題の解決を後押しすることで、スマートシティ・スーパーシティも見据えた安全・安心でサステナブルな街づくりへの貢献を目指していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会的課題解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」（シーエスブイ パイ ディーエックス）というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。

